

2015年3月期上期 決算説明会 主要Q&A

Q：上期の大幅な増収+134億円の要因は？

A：

- ・新日鉄住金向けが、180億円の売上(当初4/25見通し通り)で+33億円の増収。
- ・金融向けが、メガバンクの統合関連案件中心に+40億円の増収。
- ・産業・流通サービスは、昨年度下期から積み上がってきた案件がこの上期の売上増となり、+41億円の増収。製造業向けではPLM案件、鉄道輸送向けが寄与。
- ・加えて、社会公共、基盤ソリューション、子会社を含む、全ての事業が計画を上回った。

Q：下期の売上見通しが、対前年で+16億円と控えめなのはなぜか？

A：今年度下期の売上見通し1,001億円は高い水準である。昨年度下期の売上985億円は下期受注下期売上が高水準で、社会公共を中心に20～30億円、想定を上回る売上でした。また、本年度上期に工事進行基準による前倒しが30億円ありました。

全体的な景況感で言えば昨年の10月に比べて、今時点での下期に向けた業況感是不透明。全体が既に高い水準にあり下期に大きく伸びる感じでは必ずしもありません。引き続き前倒し受注・実行を進めていくことが重要と認識しております。

以 上